

2025年度 第2回 藤沢市立善行中学校 学校運営協議会会議録
 開催日時 2025年 7月 2日（水）10時～
 場 所 善行中図書室

出席委員	亀谷 亀雄（会長・善行地区自治会連合会 副会長） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 石塚 義之（善行市民センター センター長） 佐藤 康智（善行市民センター所属） 齊藤 正枝（コーディネーター・三者ふれあいネットワーク会長・青少協会会長） 松本 美由紀（社会福祉協議会（CSW）） 渋谷 弥生（一般社団法人善行大越スポーツクラブ代表理事） 小澤 優子（現善行中学校PTA会長） 高森 保明（副会長・校長） 奥津 利香（生徒支援担当教諭） 安室 康子（教頭） 【欠席者】 植木 春雄（善行地区自治会連合会 会長） 土肥 恵子（前善行中学校PTA会長） 【傍聴者】 なし
次第	1 開 会 2 学校の様子について 校長 3 議 題 （1）地域学校協働活動にかかる補助金について （2）今年度の取り組みについて 4 その他 5 閉 会
協議内容	<司会> 第2回善行中学校運営協議会の開会 資料（配付物）の確認 学校要覧、職員紹介（PTAより） テーマ「地域と学校の活動内容」（第1回の資料より） コミュニティスクールの活動事例（厚木市より） 体育祭のフラットファイル（デザインは体育祭ポスターの優秀作品） 傍聴についての確認 開催について、ホームページに掲示。 今回は、傍聴人なし。 <校長>学校の様子について 会に先立ち、委員に集まっていたいただいた感謝とお礼を述べた。 今年はグループに分かれて、話し合いを行うこととした。 【内容】学校の様子を 画像を見ながら紹介。 3年：修学旅行 2年：コミュニケーション授業、 パーソルホールディングスのキャリア教育、空手の授業 1年：空手の授業

6組：英語の授業

全校：情報モラル教育保護者、防災地区別集会、中間テスト

※中間テストは5科、4科は単元テストとしている（昨年度から）

教職員：校内研究全体会、

体育祭：生徒主体の様子、

今年度新しく学年種目となったボックスリレー

休憩を入れながら競技を行った様子（暑い日だったため）

学校施設：色替えをしたフェンス

市総体：サッカー部、野球部、バスケットボール部、ソフトテニ部、

バドミントン部、卓球部

<司会>議題に入る前に、

前回欠席だった石塚センター長が参加。

加えて、地域と関連する事業が多いため、善行市民センターより、佐藤さんも出席。委員の承諾を得る。

議題

(1) 地域学校協同活動にかかる補助金について

昨年の活動費の予算 4万1000円

使用項目は、空手の事業への謝礼、座談会の文房具、ボランティアの活動費残高は教育総務課に返納。

今年度の予算 4万1000円。

何に使用するかは、本日話し合う内容によって決定。

ただし、飲食物や活動に参加する子供の材料費など実費相当分に該当する経費は対象外。

(2) 今年度の取り組みについて（3つのグループに分かれての話し合う）

①支援グループ・・・人見委員、松本委員、渋谷委員

○座談会について → 多くの方が参加しやすい会にするために

・場所や開催内容を変えてみる。

全体 セミナー（参加者の学びがあるもの）を行う。

保護者同士が交流したり、悩みを共有したりする、安心できる場をつくる。

個別ブースをつくり、個別で話す場所をつくる。

・声かけする窓口を広くする。

中学生の子供を持つ保護者

思春期のお子さんを持つ保護者

・時期は、昨年度と同じ 秋。

・保護者セミナー→ 交流会 → 個別相談会の順で開催する。

○ボランティア・介助員等の学校の支援

・学校で、どんな支援が、何人ぐらい必要か明確にした上で、地域の方にも協力を求めていく。

○研修会について

・夏休みの職員の支援研修会について

現在、職員が知りたいことや深めたいことについて外部機関の方に講演していただいている。そこで、コミスク委員の方にも講師を紹介していただけないか。また、家庭の困りごとについて、先生たちに学んでもらえる講演会ができるとうい。

<司会>

秋の座談会について、会の終わりに場所や日、時間などを決めることを確認した。

②行事グループ・・・石塚委員、佐藤さん、小澤委員、安室教頭

○体育祭について

→体育祭の時期、とても気温が高く、本校の校庭に生徒が入る木陰がない。

- ・今年度、休憩を取りつつ行った。
- ・来年度は、市民センターからテントをお借りし、保護者の方に手伝ってもらい、建てることできれば良いのではないか。

○団地まつりについて

- ・昨年に引き続き今年度も吹奏楽部が演奏。
- ・文化部で小さい子供向けの出店や、6組のメモ帳などの販売もできないか。

○善行ふるさとまつり（旧善行公民館まつり）について

- ・中学生が、ボランティアとして参加している。
ボランティアの活動としてゲームコーナーやタピオカのジュース店を行っている。今後、中学校で生徒に参加を呼びかけ、市民センターと中学生のつながりをつくっていく。

○6組のポッチャ 体験

- ・6組の行事予定を聞きながら、考えていく。
- ・6組の保護者の方にも参加していただけたらよいと考えている。

○市民センター、夏休みの学習室開放

- ・センターの開放の周知を行う。
- ・学習室でも、中学生に向けて市民センター活動の広報を行う。

③防災グループ・・・亀谷委員、高森校長

○学校の現状

- ・一般的に、京都、奈良などの観光地の修学旅行から、平和学習や震災の遺稿を見学する修学旅行に変化してきている。現2年生は、阪神淡路大震災の遺稿を見学に行く予定。
- ・大きな地震が起こる可能性が高くなり、総合の時間に防災を扱っている。内容については学年で話し合っていて決めている。

○地域とのかかわり

- ・震災が起きたとき、統一行動がとれるように地域の大人と生徒が情報を共有することが大切。自治連の防災訓練への生徒の参加や地域の方の学校で行う防災訓練への参加が実現できると良いのではないか。
→生徒が自治会の防災訓練に参加するように学校から発信する。
→地域の方が学校の防災訓練にも可能であれば、参加していただけるよう、発信できないか。
→善行団地の10月12日に防災訓練を行う事になっている。
学校でもポスター掲示などの宣伝活動をしていく。

(3) その他 特になし

<司会>

次回の会議の日程を確認

第3回 10月 6日(月) 10:00～(会場:3階図書室)

第4回 2月 6日(金) 10:00～(会場:3階図書室)

会の終了

<会議後>

座談会について大枠を決定。

日程：11月15日（土）10:00～12:00

場所：善行中学校 集会室

チラシ：9月に事務局で作成、メールで各委員に配信、確認

10月に配付予定

善行・大越小学校6年生にも配付

善行市民センターにも置く